

【資料1】 前回協議内容確認

●第1回文化芸術審議会意見まとめ

【総括について】	
久池井委員	後期が始まったばかり。この2年は実績確認と報告書のよりよい改善を行い、3年後総括でいいのでは？
【コロナの影響について】	
平川委員	今年はコロナで各団体が事業ができなくて困っている状況を耳にする。団体に状況の聞き取りをしてはいかがか。
森部委員	文化協会加盟団体からも、発表、活動の場の確保が難しい話を聞いている。そのため今後の展示事業での作品数の減少が見込まれる。
森部委員	各団体の従来と違ったやりかたで事業を実施した等の実際の活動を聞き、各団体が行った工夫を拾い上げてまとめてはいかがか。
都甲会長	まずコロナでどういう影響を受けたか、そしてその対処状況を聞き取って記録してはいかがか。
山下委員	事業は実施するつもりだが、コロナの関係で会場入場者数が制限されたことにより、PRが難しい実情がある。
松田委員	一般団体の活動を把握するシステムができたらいいのではないか。
山田委員	コロナにより子どもたちの発表の場が減少している。子どもたちの活動の集大成を発表できる場を作ることができないか。
都甲会長	高齢者の引きこもりによる影響が出ているのではないか。
【文化事業への考え方について】	
森部委員	中高生吹奏楽コンサートを文化協会で開催した。併せてネット配信も実施。工夫しながらやるのが文化をつなぐことになる。
谷口委員	コロナで大変だが、その中でもできることをやるのが、逆境においても文化を守ることになるのではないか
久池井委員	コロナで不安感が高まっている中、それでも活動を行っている努力を発信し、知ってもらうことでお互いを元気づけることができるのではないか。コロナだけでなく、災害など活動が全くできない状況もありえる。そんな時でも活動をつなぐ努力と情報発信があったらと考える。

●前回のご意見を受けて【事務局提案】

今年のコロナの影響は大きく、市事業もそうだが、文化団体、個人、学生と多くの方が、練習や発表の場を奪われていることを改めて実感した。今回の総括の中でコロナへの対応は記録し、総括に取り入れ、次期計画に生かすべきと考えている。ついては次年度にコロナの1年を振り返って、またコロナ以外においても古賀市の文化活動について等に係る団体アンケートを実施し、その結果を踏まえた上で審議会の中でご自身が所属しておられる団体を含めて、文化団体のご意見をうかがうこととしてはいかがか。また団体であると同時に一市民としてのご意見も併せてうかがうこととしてはいかがか。